

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築生産 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	赤石 辰夫			実務 経験	有	職種	施工管理／ 1 級施工管理技士				
担当教員紹介											
建設会社で現場監督として勤務し、2 階建ての信用金庫支店から 1 4 階建ての高層住宅まで様々な施工管理を担当。また超高層RC 造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当した経験を持つ。											
授業概要											
教科書を中心に解説を進めるが、建築工事がより身近に感じられるように教員の経験も交えて説明を行う。項目ごとに区切りとなる小テストを行い、個人ごとの理解度の確認をする。											
到達目標											
鉄骨の建築では他の工法と異なり、必ず鉄骨の加工工場が躯体工事の中核となる。その工場内で行われる加工技術やその製品精度の検査に関する知識を学ぶ。一方で、工事現場で組み立てるための建て方技術や接合方法について学び、建物全体を精度よく施工する方法を理解する。また、建築生産 1 で学んだ木造や鉄筋コンクリート造の施工技術の知識について復習を行い、今回学んだ鉄骨造も含めて内装および外装の仕上げ工事に関する施工技術を理解し、建築工事全般について説明ができるようになる。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する									
小テスト	30%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する									
平常点	20%	普段行われる演習問題の理解度や取り組みについて判断する									
履修上の注意											
身の回りには建築工事現場がたくさんあるので、興味を持って工事を観察し、疑問点があれば授業で質問するように心がけること。また、過去に学んだ知識は必ず仕事として使うので、わからなくなったら 1 年生で学んだ分野について復習をすること。											
教科書教材											
初学者の建築講座建築施工、ビジュアルハンドブック必携建築資料											
回数	授業計画										
第1回	建築施工ガイダンス 建築生産1の復習／施工技術者資格対策・測量実習・材料実験との関連										
第2回	鉄骨構造の施工 1 鉄骨工場のグレード／鉄骨材料の加工方法・基準										
第3回	鉄骨構造の施工 2 鉄骨の溶接・錆止め塗装などの基準										
第4回	鉄骨構造の施工 3 RC造の基礎・アンカーボルト										
第5回	鉄骨構造の施工 4 鉄骨の建て方工事・高力ボルト接合										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築生産 2	
第6回	鉄骨構造の施工 5 鉄骨の耐火被覆・カーテンウォール工事
第7回	防水工事 1 下地処理／アスファルト防水・改質アスファルト防水・シート防水工事・塗膜防水工事
第8回	防水工事 2 防水押えコンクリート工事／シーリング工事
第9回	防水工事 2 防水押えコンクリート工事／シーリング工事
第10回	タイル工事・石工事 湿式工法と乾式工法
第11回	建具工事・ガラス工事 木製建具、鋼製建具、定形シーリング、不定形シーリング
第12回	金属工事・内装工事 軽量鉄骨下地、プラスターボード下地、フローリング仕上げ
第13回	塗装工事・吹付け工事 下地処理と塗料の相性、吹付けタイル
第14回	電気工事・給排水工事 キュービクル、シャフトと配線・配管
第15回	空調工事・断熱工事 空調方式、換気方式、断熱工法